平成16年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成16年 1月30日

(コード番号:9885 大証第2部)

上場会社名 株式会社シャルレ

(URL http://www.charle.co.jp/)

代 表 者 役職 代表取締役社長 氏名 林 宏子

問合せ先責任者 役職 経理グループマネージャー 氏名 内海 哲也 (TEL:(078)302-8840)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無

における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年12月31日) (注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 売上高

	売上高	前年同期比
平成 16 年 3 月期第 3 四半期 平成 15 年 3 月期第 3 四半期	_{百万円} 5 1 , 5 6 3 -	% - -
(参考)平成15年3月期	39,181	-

- (注1)当期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率につきまして は記載しておりません。
- (注2) 平成 15 年 3 月期の売上高は、平成 15 年 2 月末日 (子会社中間決算日)を連結子会社のみな し取得日としているため、当社単独の売上高と同額です。

平成 15年1月30日に総合ギフト卸売業の(株)シンワの株式を取得し、子会社としております。

[売上高に関する補足説明]

事業の種類別	平成 16 年 3 月期第 3 四半期		
セグメントの名称	金額	構成比	
	百万円	%	
下着等卸売事業	30,740	5 9 . 6	
ギフト卸売事業	19,812	3 8 . 4	
その他の事業	1,010	2.0	
合 計	51,563	1 0 0.0	

(注)下着等卸売事業における品目別売上高の状況は、次のとおりであります。

)「自守時况事業にのける間目別允工間の小が記る、次のこのうでのうるう。				
品目	平成 16 年 3 月期第 3 四半期		(参考)平成15年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%
ファンデ・ーション	7,541	24.5	10,861	27.7
レック゛ニット	3,386	1 1.0	4,820	1 2.3
肌着・ショーツ	8,505	27.7	11,434	2 9 . 2
ランシ゛ェリー	474	1.5	5 8 9	1.5
ナイティ・Tシャツ・水着	6,051	1 9 . 7	6,626	16.9
fp/llh*	275	0.9	4 0 9	1.1
タオル	1,272	4 . 1	2,046	5.2
ギフト	4 5 7	1.5	4 4 3	1.1
化粧品	2,080	6.8	8 9 3	2.3
その他	6 9 3	2.3	1,055	2.7
合 計	30,740	100.0	39,181	100.0

当第3四半期における日本経済は、企業収益や設備投資に改善が見られたものの、デフレ色が残り、 円高の影響もあることから、依然として不透明感を残しております。また、厳しい雇用・所得情勢が続いたため、個人消費の本格的な回復までには至っておりません。

このような事業環境のもと、当社の企業グループも消費不振の影響を受け、厳しい状況が続いております。

まず当社の下着等卸売事業につきましては、新商品の投入や4月から11月までのビジネスメンバー(販売員である代理店・特約店)向けのレインボーコンテストなどを実施し、売上の向上を図った結果、売上高は307億40百万円となりました。なお、4月から本格発売しましたスキンケア商品(化粧品プランド「エタリテ」)につきましては、計画以上に推移いたしました。

次に、連結子会社の㈱シンワなどによるギフト卸売事業につきましては、個人消費の低迷と厳しい企業間競争の中にあって、同社の特長であるきめ細やかな顧客サービスの徹底を図ることで、売上高は198億12百万円となりました。

また、その他の事業の売上高は10億10百万円となり、当社の企業グループ全体の売上高は515億63百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3.平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

	予 想 売 上 高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
通期	百万円 66,600	百万円 1 , 9 5 0	百万円 280	円 銭 1 4 0 1

[業績予想に関する定性的情報等]

平成15年11月21日に発表した予想数値に比べまして、売上高は約10億円、経常利益は約1億50百万円下回る見込みであります。主な理由としましては、下着等卸売事業において下着のボリュームゾーンである定番商品が、計画を下回る見込みによるものであります。

また、平成16年1月に、当社が競争力の強化を目的として早期の構造改革を実現するために実施しました、希望退職者の募集に伴う割増退職金の支給額約4億50百万円を、特別損失に計上することから、当期純利益が前回の予想を約3億80百万円下回る見込みであります。

4.参考:平成16年3月期の単体業績予想(平成15年4月1日 ~ 平成16年3月31日)

		予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
		百万円	百万円	百万円	円 銭
通	期	38,700	1,560	3 2 0	16 01

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社企業グループ(当社および連結子会社)で作成したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上